

発注企業動向調査結果

-2020.1-

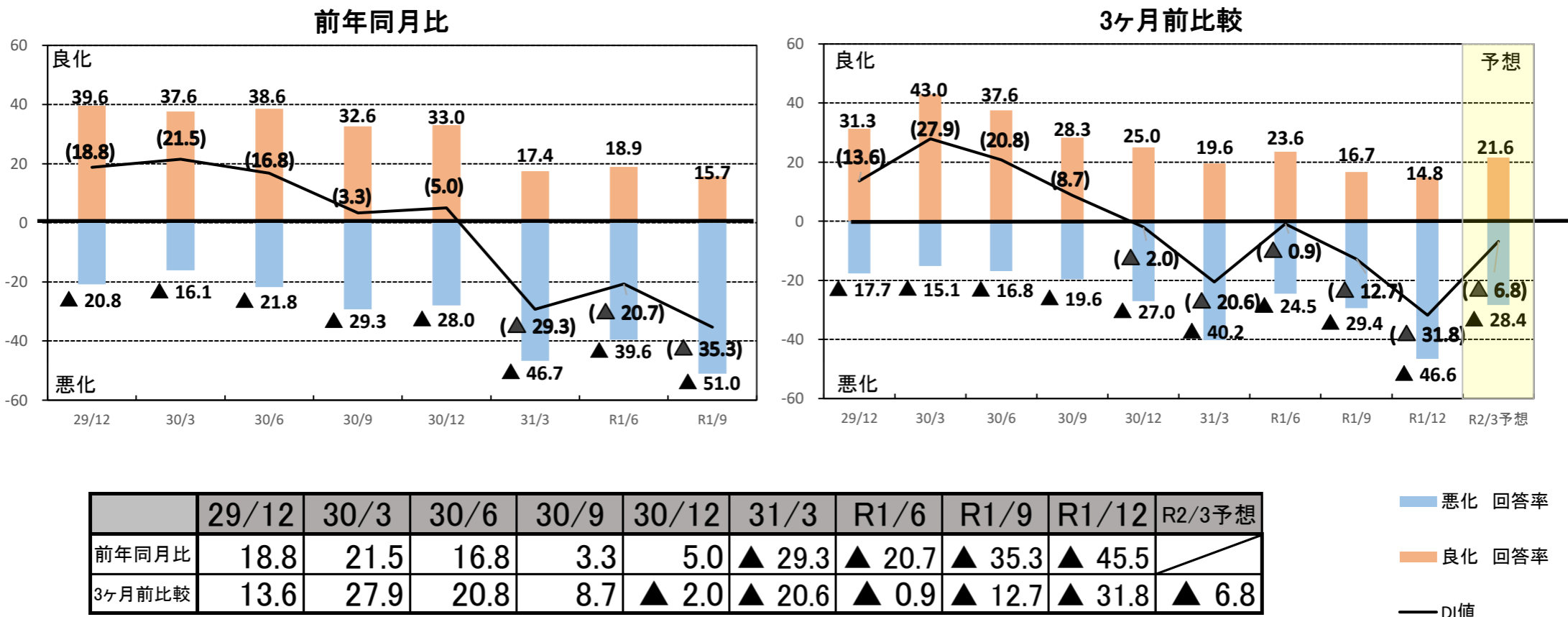
- 調査時点 令和元年12月調査(令和元年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業88社(回答率:58.67%)

<業種内訳>

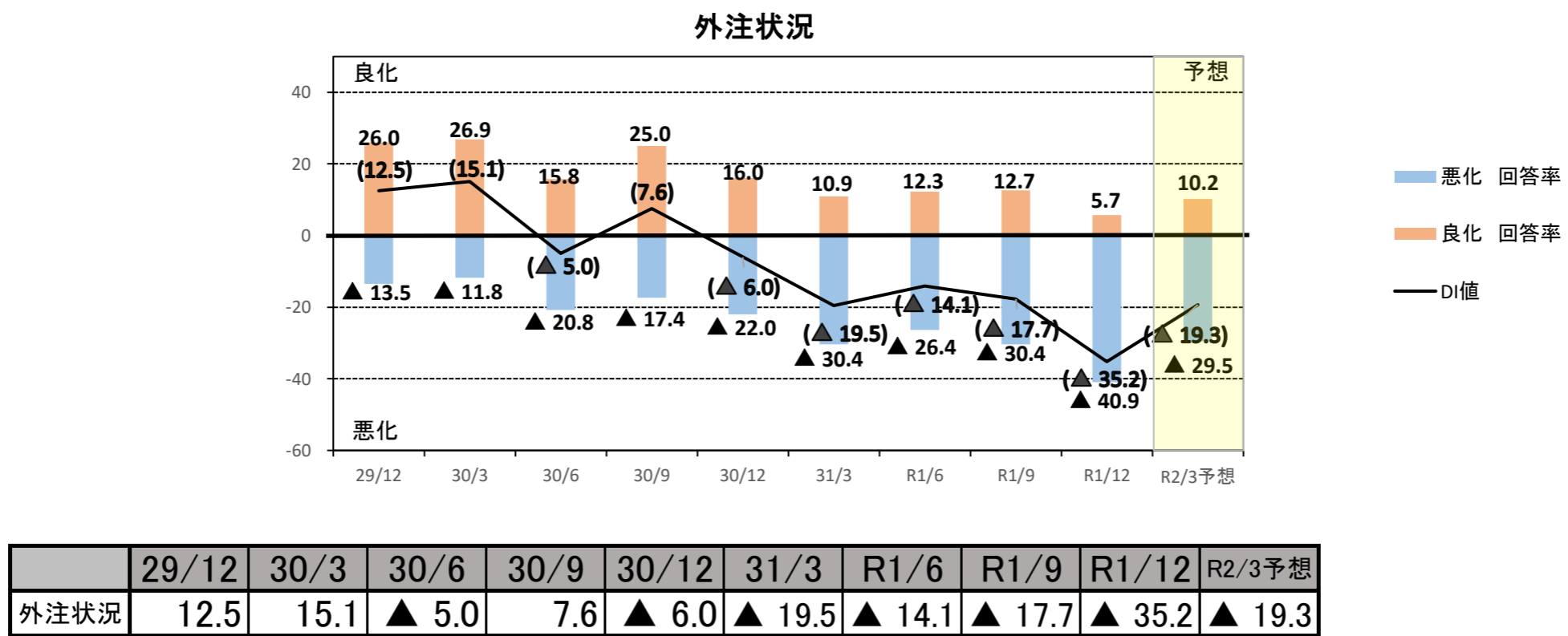
プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	13社
金属製品	4社
一般機械器具	18社
電気機器	19社
輸送用機器	15社
精密機器	4社
縫製	6社
計	88社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲45.5で前回の▲35.3から10.2ポイント減で悪化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲31.8で前回の▲12.7から19.1ポイント減で悪化となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲35.2で前回の▲17.7から17.5ポイント減で悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲6.8で25.0ポイント増の改善、外注状況が▲19.3で15.9ポイント増の改善という予想になった。
- ・その他自由意見として、昨年から減産基調が続いている、人材不足が本格化している、米中貿易摩擦の影響を懸念しているという意見が寄せられた。